

登米市農業生産 1 日 1 億円の令和 5 年検証について

1. 農業生産 1 日 1 億円達成に向けて

登米市では、本市農業の現状や米、野菜、畜産等の品目ごとの振興方策及び支援策がどのような効果として現れているかを測定するため、「登米市農業生産 1 日 1 億円創出プラン」を平成 19 年に策定（平成 19～27 年度）し、目標に向けて取り組んできました。この「登米市農業生産 1 日 1 億円創出プラン」は平成 27 年度で計画期間が終了しましたが、農業生産 1 日 1 億円の目標については、平成 27 年度に新たに策定した本市農業行政の基本指針となる「登米市農業振興ビジョン（計画期間：平成 28～令和 7 年度）」に引き継がれました。

「登米市農業振興ビジョン」では、農業生産 1 日 1 億円達成に向けて、令和 7 年の目標産出額を 365 億円に設定し、各施策の取り組みを積極的かつ効果的に推進していきます。

2. 農業産出額の推計

単位：百万円

品目	平成 26 年 実績 (基準年)	令和 4 年 実績	令和 5 年 市推計値	令和 4 年 ー令和 5 年 増減	令和 4 年ー令和 5 年増減の主な要因	令和 7 年目標 (最終)	達成率 5 年/7 年
米	9,890	10,700	11,615	915	米は、前年と比較し仮渡金単価が上昇するとともに、平均反収が上昇していること等から 9 億 1,500 万円の増となった。	13,858	83.8%
麦類	20	21	28	7	麦類は、作付面積がほぼ横ばいであるが、販売単価の上昇により、700 万円の増となった。	132	21.2%
豆類	320	360	360	0	豆類は、作付面積、単位面積当たりの標準収入金額が前年とほぼ横ばいとなり、同額となった。	1,359	26.5%
野菜類	3,730	2,790	2,806	16	野菜は、作付面積がほぼ横ばいであるが、きゅうり、キャベツ等の販売単価の上昇等により、1,600 万円の増となった。	3,451	81.3%
果実	130	130	135	5	果実は、全体的な販売単価の上昇等により、500 万円の増となった。	190	71.1%
花き類	300	293	277	△16	花き類は、作付面積の減少等により、1,600 万円の減となった。	300	92.3%
工芸農作物	20	10	7	△3	工芸農作物は、葉たばこの作付面積の減少等により 300 万円の減となった。	5	140.0%
種苗・苗木・その他	90	52	57	5	種苗・苗木は、苗木の販売が伸びたことから 500 万円の増となった。	50	114.0%
畜産	13,160	15,590	16,920	1,330	畜産は、牛の飼育頭数の増頭等により、13 億 3,000 万円の減となった。	16,371	103.4%
加工農産物	170	337	481	144	加工農産物は、推計方法の見直しにより、1 億 4,400 万円の増となった。	705	68.2%
特用林産物	99	54	35	△19	特用林産物は、きのこ類の生産量減少等により、1,900 万円の減となった。	79	44.3%
合計	27,929	30,337	32,721	2,384		36,500	89.6%

※農業産出額について

令和 5 年農業産出額については、農林水産省から市町村別農業産出額がまだ公表されていないため市調査の推計値となる。

令和 4 年農業産出額は、対象としている 11 品目中、6 品目（米、豆類、野菜類、果実、工芸農作物及び畜産）については、農林水産省が令和 6 年 3 月に市町村別農業産出額を公表したことから、その数値を使用。麦類、花き類、種苗・苗木・その他、加工農産物については市の推計値を使用し、特用林産物については宮城県の特用林産物粗生産額算出表の数値を使用。

3. 総括

令和 7 年の最終目標額365億円に対して、令和 5 年度産出額は327億2,100万円となり、目標達成率は 89.6%となった。

目標達成に向けては、農業振興ビジョンに基づき、スマート農業の推進や初期型ほ場整備地区における大区画化の推進による省力化やコスト削減に向けて取り組み、また、水田をフル活用した高収益作物等への更なる転換の推進、畜産や園芸の振興によるブランド力の向上を図るなど、人材、環境、品質等の条件整備を進めながら儲かる農業の実践者を増やしていくよう、農業者と関係機関が一体となった取組を進めていく必要がある。

なお、農林水産省が公表した令和 4 年市町村別農業産出額では、本市は弘前市、一関市に次いで東北 3 位（全国25位）、畜産のうち肉用牛は東北 1 位（全国 7 位）となった。

【参考資料】

○農業生産 1 日 1 億円創出プラン

1. 農業産出額の推計

単位:百万円

品目	平成22年 市推計値	平成23年 市推計値	平成24年 市推計値	平成25年 市推計値	平成26年 実績	平成27年 実績	平成28年 実績	平成29年 実績	平成30年 実績	令和元年 実績	令和2年 実績	令和3年 実績
米	12,240	16,199	17,540	14,512	9,890	10,470	11,570	12,790	13,490	13,990	13,350	10,630
麦類	53	103	116	112	20	10	10	10	10	20	20	20
豆類	559	705	1,293	1,083	320	370	300	250	250	370	440	400
野菜類	3,048	3,081	2,642	2,911	3,730	3,980	3,890	3,740	3,940	2,820	3,080	2,870
果実	429	334	276	264	130	140	130	150	160	160	170	130
花き類	520	381	388	385	300	320	320	310	300	274	274	275
工芸農作物	32	27	30	24	20	20	20	10	10	20	10	10
種苗・苗木・その他	55	84	46	40	90	70	80	80	80	46	46	55
畜産	13,888	12,978	14,341	15,157	13,160	14,210	15,240	15,290	15,100	15,580	15,080	15,280
加工農産物	98	167	160	170	170	170	170	170	170	170	170	170
特用林産物	107	81	120	114	99	103	97	94	131	99	72	71
米～畜産 計					27,660	29,590	31,560	32,630	33,340	33,280	32,470	29,670
加工農産物及び特用 林産物 計					269	273	267	264	301	269	242	241
合計	31,029	34,140	36,952	34,772	27,929	29,863	31,827	32,894	33,641	33,549	32,712	29,911

① 農業産出額については、農林水産省が平成 19 年に市町村レベルの農業産出額統計の作成を取りやめたことから、本市独自に農業産出額を推計してきた。

② 平成 26 年から平成 30 年の農業生産額については、農林水産省が市町村別農業産出額を公表していることから、対象としている 11 品目中、9 品目（米、麦類、豆類、野菜類、果実、花き類、工芸農作物、種苗・苗木・その他及び畜産）は、農林水産省公表の市町村別農業産出額を、残り 2 品目（加工農産物及び特用林産物）は、市調査の推計値を使用している。

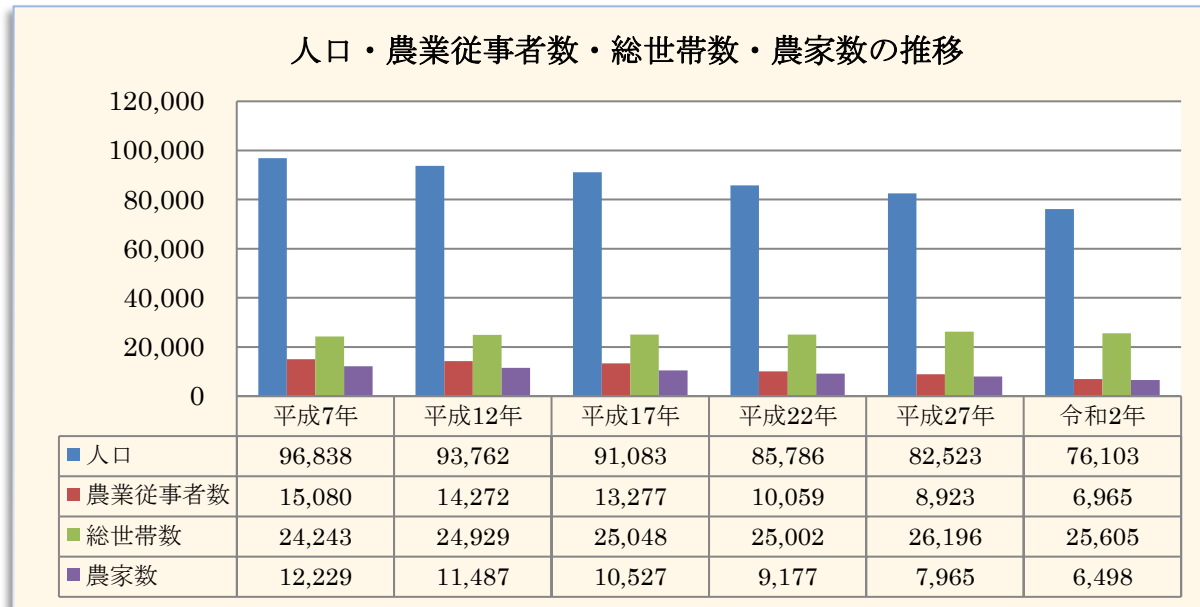
令和元年以降の農業産出額は、対象としている 11 品目中、7 品目（米、麦類、豆類、野菜類、果実、工芸農作物及び畜産）は、農林水産省公表の市町村別農業産出額を、花き類、種苗・苗木・その他、加工農産物については市の推計値を使用、特用林産については宮城県の特用林産物粗生産額算出表の数値を使用している。

○登米市農業の概要

1. 農家数及び農家人口の推移

本市の総世帯数は、年々増加傾向にあります。人口は減少傾向にあり、令和2年の人口は76,103人となっています。また、農家数、農業従事者数とも減少傾向にあり、令和2年は、農家数が6,498戸、農業従事者数が6,965人となっています。

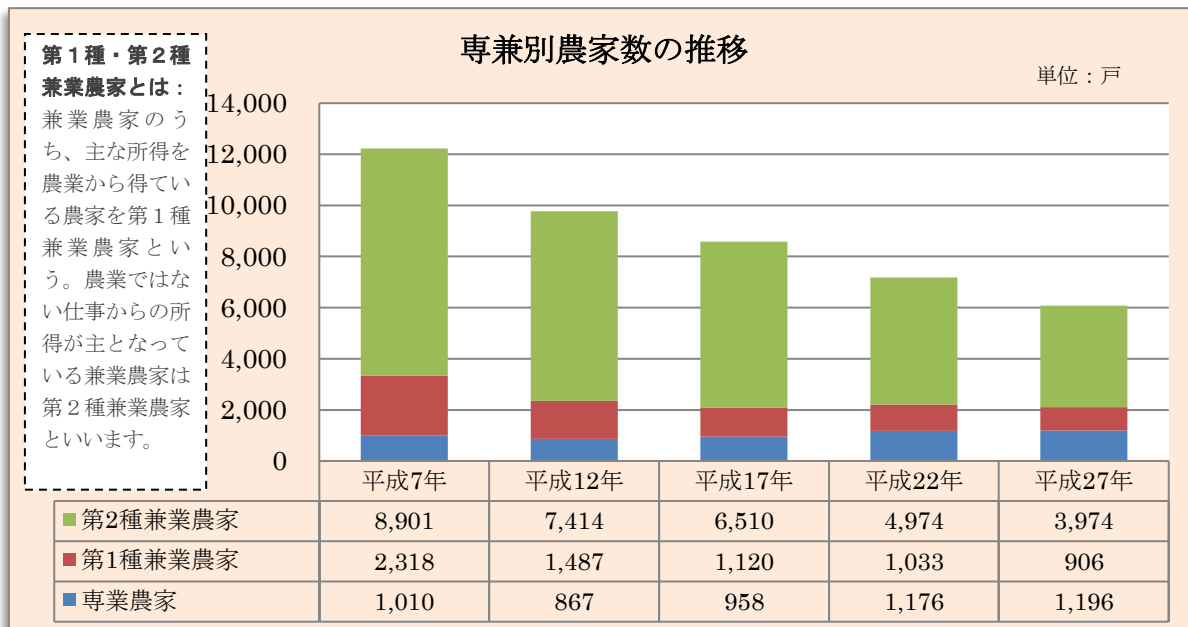
※平成27年度は東日本大震災の影響により増加



※資料：国勢調査及び農林業センサスより

2. 専業兼業別農家数

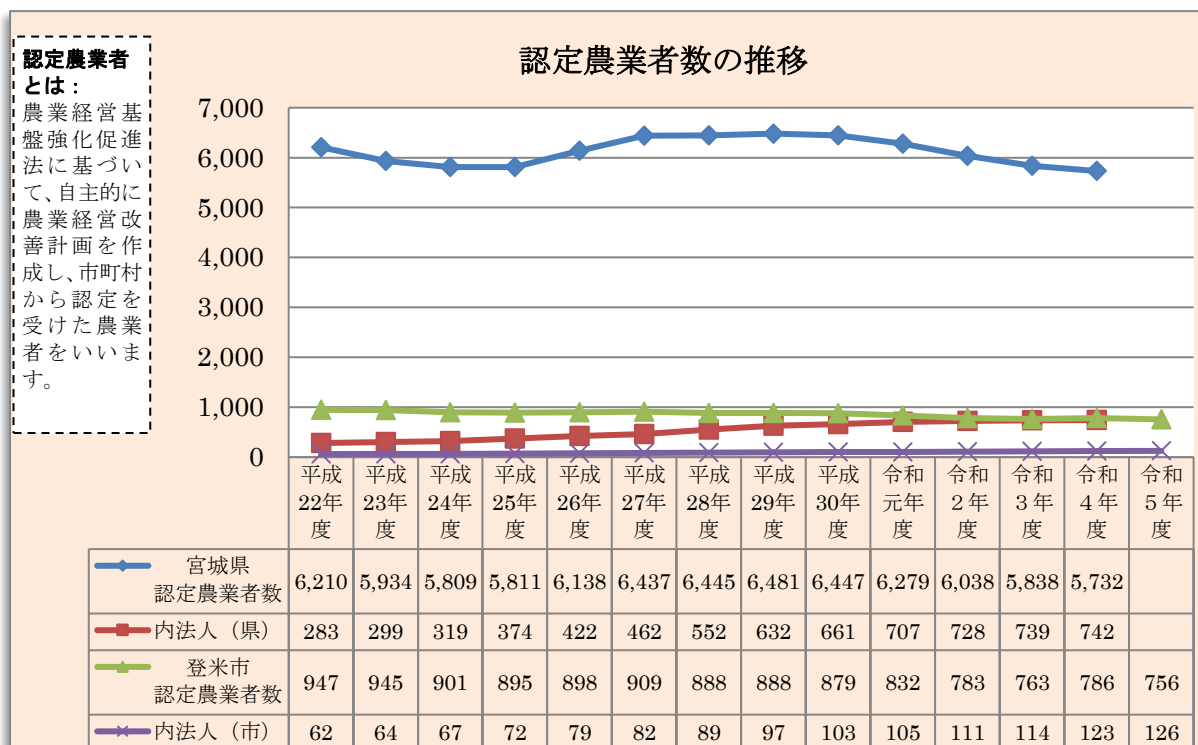
専業農家数は、平成17年から増加傾向にありますが、第1種・第2種兼業農家数は減少が続いています。



※資料：農林業センサスより

3. 認定農業者数

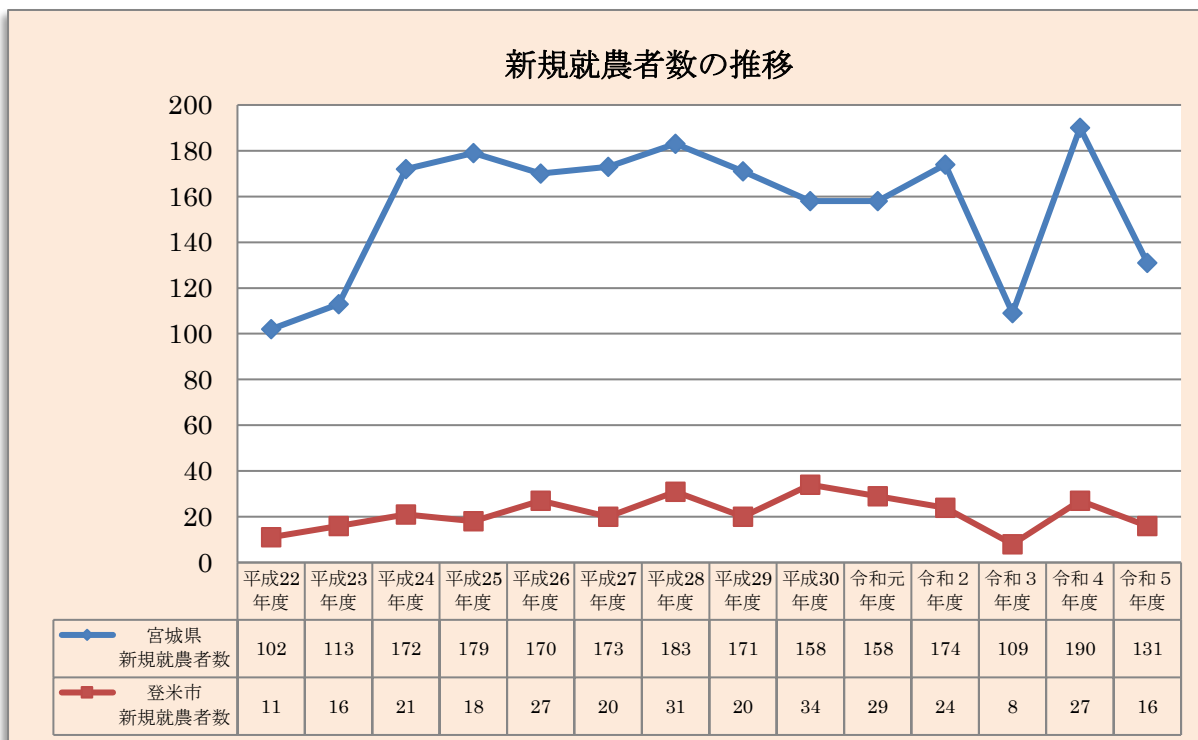
令和5年度末現在の本市の認定農業者数は、756経営体となり前年と比べ30経営体減少しました。また、認定農業者のうち法人数は前年と比べ3経営体増加し、126経営体となっています。



※資料：県 HP、宮城県農業農村の概要及び登米市認定農業者台帳より

4. 新規就農者数

令和5年度の本市の新規就農者数は16人であり、前年と比べ9人減少しました。



※資料：登米農業改良普及センター調べにより